

J-pac



タイトル「J-pac」について

Jは、Jyusan (十三)。
pは、P Rmagazine (広報紙)。
aは、amazing (アメイジング)。
cは、coruscate (輝く)。

それぞれの頭文字を採りました。また、「pac」には、十三中学校の生徒全員が心を一つにして頑張っていきたいという意味が込められています。

生徒会スローガン「笑-スマイル- 広げよう あふれる笑顔の輪」に決定！！

5月17日に行われた生徒総会で、生徒会執行部が提案した今年度の生徒会スローガン「笑-スマイル- 広げよう あふれる笑顔の輪」が全会一致で承認され、決定した。このスローガンには、「全校生徒が明るく、笑顔で学校生活を送れるように」という思いが込められている。また、「笑」の漢字にニコニコマークを重ね合わせたシンボルマークも執行部が考案し、のぼり旗に盛り込んだ。

【生徒会執行部からのメッセージ】

全校生徒が一人一人を思い、協力し合いながら、全力で取り組み、達成したときに「笑顔」が見られることでしょうか。ふとしたときに見られる小さな「笑顔」から大きなことをやり遂げたときの「笑顔」まで、たくさんの「笑顔」が学校にあふれかえることができたらと願っています。自分だけでなく、相手にとってもうれしい時間が増えるような活動を目指していきましょう。



湖南小学校での「のぼり旗贈呈式」

笑顔あふれるさわやかな朝

～さわやか挨拶運動～

6月19日～21日の3日間、湖南小学校との小中連携事業として「さわやか挨拶運動」を実施した。実施に先立って、6月17日に湖南小学校で「のぼり旗贈呈式」を行い、今年度のスローガンの入ったのぼり旗を贈呈するとともに、挨拶運動の意義や実施方法を小学生に説明した。

挨拶運動では、生徒会執行部と生活規律委員が湖南小学校と十三中学校の生徒玄関前に立ち、登校する児童・生徒を出迎えた。昨年に引き続き、「おはようございます」の声だけでなく、ハイタッチなども交え、活気と笑顔あふれる朝の登校風景となった。



挨拶運動の様子



笑顔で歌う音楽の素晴らしさ

～氷見市中学校音楽会～

7月10日に高岡文化ホールで開かれた氷見市中学校音楽会では、十三中学校2・3年生は、「風になりたい」「輝くために」「校歌」の3曲を演奏した。「風になりたい」では、ウインドチャ임、グラスハープなどの様々な楽器を使って前奏部分を創作し、幻想的な世界を作り出した。また、サンバのリズムに乗って笑顔で歌うことができた。

「輝くために」では、多くの先生方のご指導を生かして、表情(笑顔)を大切に、体全体を使うことを意識して歌うことができた。

曲の途中、どこからともなく自然に手拍子がわき上がり、会場が笑顔に包まれたことに感動した。



音楽会で歌う十三中学校

笑顔に出会うために

～きずなの森整備活動～

この十三校区は、緑に囲まれた自然豊かな場所に位置している。春にはキジ、夏には蛍が見られるなど、日本の美しい四季を感じられる。そんな十三校区自慢の場所といえば間違いなく、学校そばにある、「きずなの森」の「竹ドーム」だ。夏の恒例行事「竹ドームコンサート」に向けて、7月3日に整備活動を行った。前日の雨の影響で地面がぬかるみ、作業が難航したが、小学校の頃から親しんできた「竹ドーム」への思い入れは強く、時間内にきれいに整備することができた。

7月27日には、竹に包まれた涼しく幻想的な空間で「竹ドームコンサート」が開かれ、十三中学校も出演する。ここでも多くの方々の笑顔に出会いたいと願っています。



コンサート会場の竹ドーム



「きずなの森」遊歩道の整備

笑顔に包まれる花壇

～斎藤弥九郎像前の花壇整備～

美化委員会が、正面玄関横にある斎藤弥九郎像前の花壇整備を行った。花壇の土起こしから始まり、肥料を加え、ペゴニアやマリーゴールドなどの数種類の花苗を植えた。

幕末の剣士・斎藤弥九郎像は市内に3体あり、市内外からも見物に訪れる人もいるなど、貴重なものであり十三中学校の誇りでもある。また、今年度は銅像前に飛び石を配置し、前庭としても整備を行った。きれいに咲きそろった花壇と併せて見ていただければ、自然と笑顔もこぼれるのではないかと期待している。



花苗を植える美化委員



整備後の斎藤弥九郎像と花壇

~~~~各学年の活動から~~~~

平和な社会に向けて

～3年生修学旅行～

広島での資料館見学や講話で、平和について改めて学ぶことができました。平和な社会に向けて自分たちが何をすべきかを考えられるよう、この経験を生かしていきたいです。



協力することの大切さ

～2年生宿泊学習～

班別見学では自分たちで計画を立て、うまくいかなかったところもありましたが、仲間と協力し考え、行動することの大切さを学びました。ここで学んだことを「14歳の挑戦」や修学旅行に生かしたいです。



緊張した班別見学

～1年生校外学習～

四季防災館の見学では、いつ訪れるか分からない災害の怖さと、対策を知ることができました。班別見学は、初めて自分たちだけで行動したので、とても緊張しました。県都富山市の魅力について知ることができました。



【編集後記】

今年度、校内の広報活動を担って発足した広報・放送委員会が、この記事を書くに当たり念頭に置いたことが「生徒目線で書く」ということだ。実際に委員の生徒が、その場へ行き写真を撮影したり、インタビューを行ったりして情報を集め、自分たちで考えて記事を書いた。

「十三中学校の体育館には、よく鳥が入ってくるが生徒は気にしない」ということが市内でもよく知られたことらしいがこの話は、十三中学校の自然の豊かさや心の広さが表れていると思った。その一端が、読者の皆様にもお伝えすることができれば幸いである。令和元年という記念すべき年に、十三中学校の魅力伝える新聞を書かせていただいたことは、光栄だった。(編集長 宮崎 浩介)

氷見市立十三中学校生徒会 広報・放送委員会制作



編集作業の様子